



歴まち便り

第2号

2021.10

京都市都市計画局景観政策課

～歴まち重点区域が拡大しました～

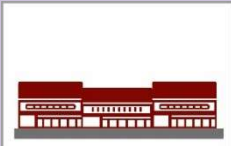
歴史的風致維持向上計画では、重点区域を設定し、歴史的な町並みにおける道路修景整備や歴史的建造物の修理・修景などを計画に位置付けることで、国から財政的支援を受けることができるようになります。

京都市歴まち計画（2期）の重点区域は、本市の市街化区域及びその周辺の区域を基本とし、これに加えて市街化調整区域の風致地区のうち、京の街道とその周辺及び京の都を育む水・土・緑の歴史的風致を形成する集落としています。

【重点区域の名称】 歴史的市街地地区

【重点区域の面積】 約13,575ha

重点区域で実施する主な事業



歴史的風致形成建造物の指定・修理



史跡公園の整備

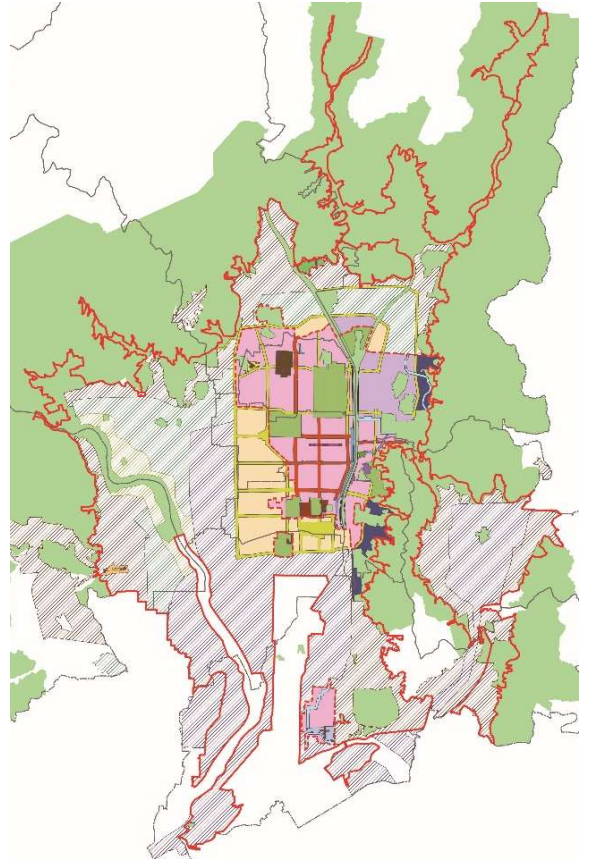


無電柱化・道路修景整備



歴史的風致の魅力発信

2期計画では、拡大した重点区域において、歴史的風致形成建造物の指定や、史跡公園整備・道路修景整備などを実施しています。



歴まち人からの便り ～〈歴まち〉と私 ②～

京都大学名誉教授 高橋 康夫

京都のまちは、日本の都市のエコミュージアムといえるでしょう。1200年あまりの都市（首都）の歴史が重なり合っていて、多種多彩な〈歴史的風致〉をもっているからです。そして、そのことが京都の〈歴まち〉を面白くし、また難しくもしています。「京都」としてのアイデンティティを伝えながら創生していくことが〈歴まち〉だとすると、それはゆるやかな進化になるにちがいありません。

歴史まちづくり法はそうした堅実な営みを支えるツールですが、京都市はそれに加えていくつもの独自ツール（制度）を整備してきました。2011年の「京都を彩る建物や庭園」制度もその一つです。市民の力で新たな文化遺産を見だし、保存継承につなげようとするもので、すでに大きな成果をあげています。当初から「彩る」制度は〈歴まち〉との親和性が指摘されていましたが、実際に「先斗町まちづくり」や「姉小路界限まちづくり」などの歴史まちづくり、景観まちづくりに寄与しています。

ところで歴まち協議会では先斗町と姉小路界限の方々から直接お話をうかがう機会がありました。驚いたこと

に、戦国動乱のなかで生まれた町衆の自治の伝統が現代のまちづくりのなかに脈々と生きつづけているのです。戦国時代の町衆の息吹、自治のようすをまのあたりにしました。「歴史まちづくり」や「景観まちづくり」というと、何か特別のプロジェクトのようですが、まちづくりはふだんの暮らしとコミュニケーションの積みかさねのなかから生み出されるものではないでしょうか。

幸いにも私は、〈歴まち〉2期計画の策定と国の認定を見届けることができました。今後も2期計画が順調に進捗し、世界に誇りうるエコミュージアムとなっていく姿を見守り続けたいと思っています。

高橋康夫（たかはし やすお）

1946年生まれ。1969年京都大学工学部建築学科卒業。1995年京都大学工学部教授。2010年京都大学名誉教授。2009年京都市歴史まちづくり推進協議会（現在の名称は京都市歴史まちづくり推進会議）座長。京都市歴史的風致維持向上計画の策定及び推進に携わる。



歴まち計画（2期）

わが町・わが行事 ～北野天満宮・瑞饋祭～

上京区の北野天満宮は、菅原道真公を御祭神とする全国約1万2000社の天満宮、天神社の総本社です。

創建は、平安時代中頃の天暦元年(947)に、菅原道真公を祀ったのが始まりと伝わる。学問の神様として知られ、受験等を控えた参拝者が絶えません。



本殿(国宝)は、慶長12年(1607)豊臣秀頼が建築したもので、拝殿(国宝)と本殿を石の間(国宝)で連絡した権現造の原型です。

瑞饋祭は、慶長12年(1607)、北野天満宮本殿造営の際、西ノ京氏子の人々がこれを祝って新鮮な農作物で神輿を作り、神前に奉納したのが発祥と伝わります。瑞饋祭は毎年、10月1日から5日の5日間にかけて営まれ、初日に当たる10月1日は神幸祭で、北野天満宮本殿にて出御祭が行われます。

祭りは、明治8年(1875)に結成された梅風講社を中心に氏子区域の人々により運営されています。梅風講社は、北野天満宮の崇敬者によって組織されています。瑞饋神輿は、西ノ京瑞饋神輿保存会によって供奉されます。



瑞饋神輿

歴まち処 ～粟餅所・澤屋～

上京区の粟餅所・澤屋は、江戸時代の創業と言われ、寛永15年(1638)刊行の俳諧に関する書物『毛吹草』や明暦4年(1658)刊行の京都で最も古いとされる『京童』にも、その名が記されており、創業以来数百年にわたり営みを続けています。粟餅は現在でも北野の名物として人々に親しまれています。



名物「粟餅」

【粟餅所・澤屋】

京都市上京区今出川通御前西入紙屋川町 838-7
 アクセス：京福電鉄北野線/北野白梅町駅 徒歩6分
 営業時間：9:00～17:00(売切次第終了) 木曜休
 電話番号：075-461-4517

歴まち事業の紹介 ～御前通～

京都市では、世界遺産をはじめとする寺社等とその周辺の歴史的景観を保全・継承するため、平成30年10月から景観政策を充実させ、本市が管理する道路において、周辺景観に配慮した舗装等を行っています。

北野天満宮東側に隣接する御前通は、良好な眺めを守る場所として新たに視点場に指定され、また通りの東は京都の歴史的風致であるもてなしの文化が受け継がれている五花街の一つである上七軒の歴史的な町並みが広がっています。一方、御前通は、舗装の劣化が進行し、補修する必要が生じていたことから、歴史的景観と調和した舗装(石畳風舗装)整備を実施しました。

また、この整備に併せて、北野天満宮一の鳥居前広場において石畳風舗装の整備を行いました。



整備前



整備後(2019年終い天神時)

で京都検定にチャレンジ!

「歴まち計画(2期)」を読んで、今号で紹介したエリアに関する京都検定試験問題に挑戦してみよう!(京都・観光文化検定試験3級 過去問題より引用)

- (A) 北野天満宮では、祭神である菅原道真の縁日に「天神さん」として親しまれる市が毎月開催される。1年最後の縁日を「終い天神」というが、それはいつか。(2019年第16回) 粟餅(あわもち)
- (ア) 12月21日
 - (イ) 12月23日
 - (ウ) 12月25日
 - (エ) 12月31日

👉 歴まち計画(2期) 2-79頁を見てみよう。

- (B) 五花街のうち、北野天満宮の門前で発展した() は花街として最も古い歴史を持つ。(2017年第14回)
- (ア) 先斗町
 - (イ) 宮川町
 - (ウ) 上七軒
 - (エ) 祇園東

👉 歴まち計画(2期) 2-79頁を見てみよう。

埤子丁(4)(B) 日25目21(4)(A)(そ景)



京都市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

発行：京都市都市計画局都市景観部景観政策課
 住所：京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地
 電話：075-222-3397 FAX：075-213-0461